

令和元年度

学校評価報告書

◆3年間の中期重点目標（平成30～令和2年度）と今年度の重点目標（太字ゴシック）

- (1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 - ①**キャリア在り方生き方教育の推進**
 - ②生徒会活動の充実
 - ③あいさつ活動の推進
- (2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
 - ④確かな学力の育成
 - ⑤豊かな心の育成
 - ⑥健やかな心身の育成
 - ⑦**ICT教育の推進**
- (3) 一人一人の教育的ニーズに対応する
 - ⑧支援教育の推進
 - ⑨**かわさき共生＊共育プログラムの実施と活用**
 - ⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応
- (4) 良好な教育環境を整備する
 - ⑪防災教育・安全教育の推進
 - ⑫快適な教育環境の整備
 - ⑬部活動の安定的な運営
- (5) 学校の教育力を強化する
 - ⑭教職員研修の充実
 - ⑮**学校評価を生かした教育活動の推進**
 - ⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立
 - ⑰体罰や不適切な指導の根絶
- (6) 家庭・地域と連携する
 - ⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底
 - ⑲基本的な生活習慣の確立
 - ⑳情報発信の充実

◆教育課題研究推進校（平成30～令和元年度）及び

キャリア在り方生き方教育研究推進校（令和元年度）としての取組

- (1) 研究主題
特色ある学校づくりを目指した「総合的な学習の時間」における教育課程の研究
- (2) 内容
「キャリア在り方生き方教育」の視点に立ち、「総合的な学習の時間」の中に、地域交流学習、「持続可能な開発目標」学習、健康安全・防災学習等を取り入れ、「総合的な学習の時間」における教育課程の研究に取り組んでいく。また、「教科」における地域交流学習、持続可能な開発目標」学習、健康安全・防災学習等の学習の可能性や教科横断型の学習についての研究に取り組む。

令和2年3月

川崎市立南生田中学校

学校評価の目的

教育活動の改善・充実を図ります

Plan (計画)

重点目標の
設定

Do (実践)

教育活動の
実践

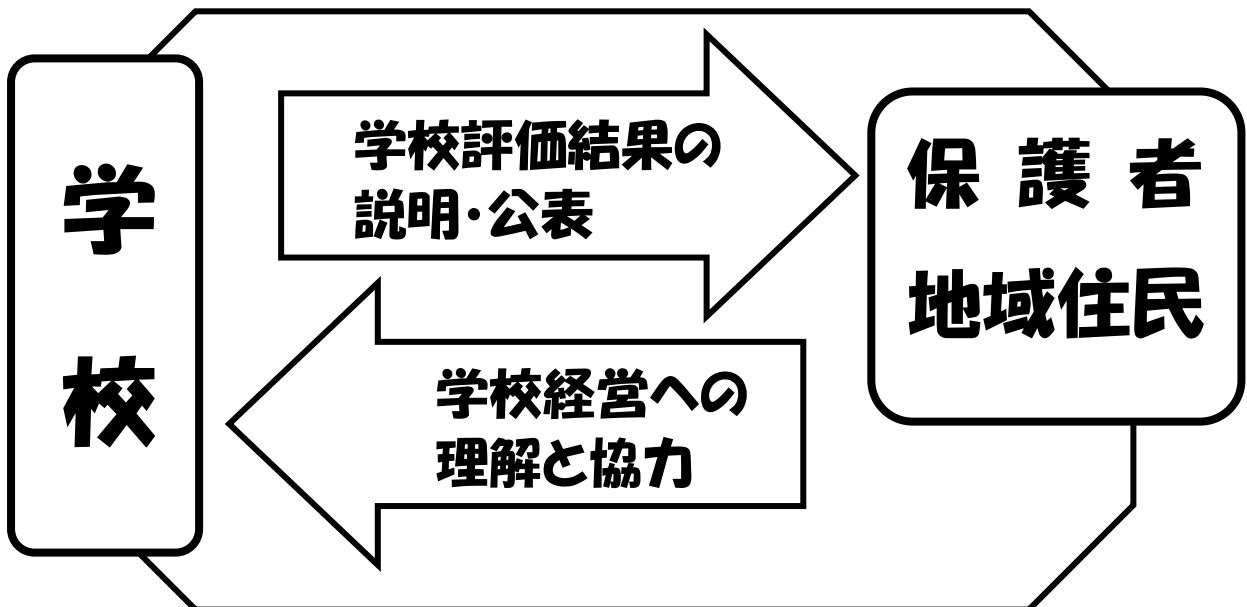
Check (評価)

達成状況の
評価・検証

Action (改善)

教育活動の
改善・充実

信頼される開かれた学校づくりを推進します



学校評価の種類

自己評価

教職員が重点目標の達成状況について評価し（10点満点）、成果や課題等を整理することにより、次年度に向けての改善の方向性等を検討します。

学校関係者評価

学校教育推進会議が教職員の自己評価結果に基づき、その適切さについて検証します。

評価計画

自己評価

Plan

経営計画と重点目標の設定（3月）

- 学校説明会の開催
- HPによる公表

評価計画・項目の設定（4月）

Do

教育活動の展開（4～3月）

- 学習や行事、日常的な取組
- 学年会・分掌部会等の定期的な開催

- 学校・学年・学級だより等の継続的な発行
- HPの更新
- 授業参観・懇談会の開催
- ふれあい広場の実施

Check

生徒・保護者アンケートの実施と分析・まとめ（1月）

自己評価の実施（1月）

- 全教職員による評価
- 評価結果のまとめ
- 課題の整理と改善策の検討

学校評価報告書の作成（2月）

評価結果の公表（3月）

- 保護者への配付
- HPによる公表
- 市教委への提出（3月）

Action

年度末のまとめ（3月）

- 評価結果に基づく教育活動の見直しと改善
- 次年度の計画と目標の設定

学校関係者評価

学校教育推進会議による評価

- 地域代表 保護者代表
- 生徒代表 教職員代表

第1回学校教育推進会議（5月）

- 学校からの経営計画、重点項目・実践計画等についての説明

第2回学校教育推進会議（10月）

- 授業や行事の参観
- 教職員、生徒、保護者、地域からの意見聴取

第3回学校教育推進会議（2月）

- 自己評価に基づく評価

(1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる

重点目標	①キャリア在り方生き方教育の推進 ②生徒会活動の充実 ③あいさつ活動の推進																									
自己評価	評 価 の 観 点	評 価																								
	①キャリア在り方生き方教育の推進を行っている	7.4																								
	②生徒会活動の充実を図っている	8.0																								
	③あいさつがしっかりできる生徒の育成に努めている	8.1																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①キャリア在り方生き方教育が充実している</td> <td>43%</td> <td>46%</td> <td>9%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>②生徒会活動が活発である</td> <td>37%</td> <td>50%</td> <td>12%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>③あいさつがしっかりできる学校である</td> <td>34%</td> <td>48%</td> <td>13%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①キャリア在り方生き方教育が充実している	43%	46%	9%	2%	0%	②生徒会活動が活発である	37%	50%	12%	2%	0%	③あいさつがしっかりできる学校である	34%	48%	13%	4%	0%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①キャリア在り方生き方教育が充実している	43%	46%	9%	2%	0%																				
	②生徒会活動が活発である	37%	50%	12%	2%	0%																				
③あいさつがしっかりできる学校である	34%	48%	13%	4%	0%																					
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている</td> <td>10%</td> <td>65%</td> <td>16%</td> <td>1%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>②学校は生徒会活動の充実を図っている</td> <td>16%</td> <td>68%</td> <td>9%</td> <td>1%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある</td> <td>33%</td> <td>52%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている	10%	65%	16%	1%	9%	②学校は生徒会活動の充実を図っている	16%	68%	9%	1%	7%	③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある	33%	52%	11%	2%	2%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている	10%	65%	16%	1%	9%																				
	②学校は生徒会活動の充実を図っている	16%	68%	9%	1%	7%																				
③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある	33%	52%	11%	2%	2%																					

〔成果と課題〕

平成30・31年度 教育課題研究推進校、平成31年度キャリア在り方生き方教育研究推進校としての指定を受け、「特色ある学校作りを目指した『総合的な学習の時間』における教育課程の研究」を研究主題として、「持続可能な開発目標〔SDGs〕」を見据えた、キャリア在り方生き方教育の視点に立った学習活動を展開した。特に企業や事業所、NPO等に協力を求め、年度前半には「気づき」をねらいとした講演会を3回行い、年度後半には15の講座学習を全校展開で行い、年度末には学習してきたことをお互いに発表しあう学習を行うことができた。

生徒会活動においては、生徒会本部を中心として生徒一人一人が主体的に取り組む活動が展開された。特に「ふれあい広場」では、夏休み前から生徒会本部を中心として生徒が集まり、話し合いを重ね、企画を練り、当日の一日の活動を企画し、実行させることができた。特に、リーダーを中心にSDGsをテーマとして行った演劇では福祉・平等・気候変動等について全校生徒や地域、保護者の方々に課題を投げかけ、主体的な行動として起こすことを呼びかけることができた。今後においても生徒が主体となって取り組む活動を継続していきたい。

あいさつに課題があると感じている生徒がおり、よりよいあいさつの実現に向け取り組んでいきたい。

(2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

重点目標	④確かな学力の育成 ⑤豊かな心の育成 ⑥健やかな心身の育成 ⑦ICT教育の推進																														
自己評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の観点</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>⑤豊かな心の育成が図れる指導に努めている</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>⑥健やかな心身の育成が図れる指導に努めている</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>⑦ICTの活用を積極的に行っている</td> <td>7.1</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価	④確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している	7.9	⑤豊かな心の育成が図れる指導に努めている	7.9	⑥健やかな心身の育成が図れる指導に努めている	8.0	⑦ICTの活用を積極的に行っている	7.1																				
評価の観点	評価																														
④確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している	7.9																														
⑤豊かな心の育成が図れる指導に努めている	7.9																														
⑥健やかな心身の育成が図れる指導に努めている	8.0																														
⑦ICTの活用を積極的に行っている	7.1																														
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある</td> <td>28%</td> <td>54%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている</td> <td>32%</td> <td>48%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている</td> <td>32%</td> <td>50%</td> <td>15%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑦授業はICTの活用が進められている</td> <td>21%</td> <td>52%</td> <td>21%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	28%	54%	16%	3%	0%	⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	32%	48%	15%	5%	0%	⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	32%	50%	15%	4%	0%	⑦授業はICTの活用が進められている	21%	52%	21%	6%	0%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																										
④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	28%	54%	16%	3%	0%																										
⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	32%	48%	15%	5%	0%																										
⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	32%	50%	15%	4%	0%																										
⑦授業はICTの活用が進められている	21%	52%	21%	6%	0%																										
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある</td> <td>5%</td> <td>53%</td> <td>31%</td> <td>6%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている</td> <td>14%</td> <td>65%</td> <td>15%</td> <td>3%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている</td> <td>13%</td> <td>65%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑦授業はICTの活用が進められている</td> <td>5%</td> <td>49%</td> <td>27%</td> <td>8%</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	5%	53%	31%	6%	5%	⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	14%	65%	15%	3%	4%	⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	13%	65%	16%	3%	4%	⑦授業はICTの活用が進められている	5%	49%	27%	8%	11%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																										
④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	5%	53%	31%	6%	5%																										
⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	14%	65%	15%	3%	4%																										
⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	13%	65%	16%	3%	4%																										
⑦授業はICTの活用が進められている	5%	49%	27%	8%	11%																										
<p>〔成果と課題〕</p> <p>確かな学力の育成では、きめ細やかな授業づくりと指導と評価の充実を目指し、基礎的・基本的な知識技能の確実な習得を図るとともに、思考力、判断力、表現力等の育成を目指して授業を行った。また、昼休みのオープン教室（学習活動）の常時開催を定着させることができたり、学習相談室での個別対応や取り出し指導を推進したりし、個に応じたきめ細やかな指導を行った。</p> <p>豊かな心の育成や健やかな心身の育成では、キャリア在り方生き方教育の研究を進める中で、持続可能な開発目標〔SDGs〕、防災と命、戦争と平和をテーマとした講演会での学びや、講座学習を行うことにより、社会が直面する課題について気づき、考え、行動する生徒の姿が見られるようになった。</p> <p>ICTの活用においては、授業においてPCや教材提示装置、50インチTVを活用した授業が見られ、ICTを活用した学習活動に努めている。しかし、ICパッドの利活用等についてはまだまだ研修していく必要があり、今後においても研修を行い指導力の向上を図りたい。</p>																															

(3) 一人一人の教育的ニーズに対応する

重点目標	⑧支援教育の推進 ⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用 ⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応																									
自己評価	評価の観点	評価																								
	⑧支援教育の推進に努めている	7.3																								
	⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	6.0																								
	⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	7.9																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧ 学校は支援教育の推進に努めている</td> <td>28%</td> <td>55%</td> <td>14%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑨ 学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている</td> <td>24%</td> <td>54%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑩ 学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている</td> <td>15%</td> <td>42%</td> <td>28%</td> <td>15%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑧ 学校は支援教育の推進に努めている	28%	55%	14%	3%	0%	⑨ 学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	24%	54%	20%	3%	0%	⑩ 学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	15%	42%	28%	15%	0%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																					
⑧ 学校は支援教育の推進に努めている	28%	55%	14%	3%	0%																					
⑨ 学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	24%	54%	20%	3%	0%																					
⑩ 学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	15%	42%	28%	15%	0%																					
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧ 教職員は支援教育の推進に努めている</td> <td>10%</td> <td>59%</td> <td>17%</td> <td>3%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>⑨ 教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている</td> <td>9%</td> <td>59%</td> <td>17%</td> <td>1%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>⑩ 教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている</td> <td>8%</td> <td>49%</td> <td>26%</td> <td>8%</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑧ 教職員は支援教育の推進に努めている	10%	59%	17%	3%	12%	⑨ 教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	9%	59%	17%	1%	14%	⑩ 教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	8%	49%	26%	8%	8%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																					
⑧ 教職員は支援教育の推進に努めている	10%	59%	17%	3%	12%																					
⑨ 教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	9%	59%	17%	1%	14%																					
⑩ 教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	8%	49%	26%	8%	8%																					

〔成果と課題〕

支援教育の推進においては、支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制を構築し取り組んだ。校内組織を整え、定期的な会議を開催し、支援のニーズに対応できる体制を推進した。特に不登校生徒への家庭訪問や電話連絡の取組、学習支援を必要とする生徒に対する学習支援の取組に力を注いだ。また、学習相談室の利活用を整備することにより、教室での学習に困難を有する生徒などが個別で学習する場として有効に活用することを推進した。

かわさき共生*共育プログラムの実施と活用については課題がある。これについては、校内で実施と活用の意義や在り方について研修・検討を行い、さらに改善を図っていききたい。

いじめ・不登校の未然防止と早期対応については、担任を中心に学年・学校全体の取り組む課題として重くとらえ、取り組んでいるところであり、学校外の機関とも連携を図り取り組んでいきたい。また、いじめはどこでもいつでも起こりうる問題であると捉え、いじめられている生徒の救済を第一にし、取り組んでいきたい。

(4) 良好な教育環境を整備する

重点目標	①防災教育・安全教育の推進 ②快適な教育環境の整備 ③部活動の安定的な運営	
自己評価	評価の観点	評価
	①防災教育・安全教育の推進に努めている	7.8
	②快適な教育環境の整備を進めている	7.7
	③部活動の適正な運営に努めている	7.4
生徒アンケート		
	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	十分達成: 39% おおむね達成: 49% やや不十分: 9% 不十分: 3% 空白: 0%
	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	十分達成: 30% おおむね達成: 49% やや不十分: 16% 不十分: 4% 空白: 0%
	③学校は部活動の適正な運営に努めている	十分達成: 30% おおむね達成: 41% やや不十分: 14% 不十分: 11% 空白: 3%
保護者アンケート		
	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	十分達成: 17% おおむね達成: 65% やや不十分: 12% 不十分: 1% 空白: 5%
	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	十分達成: 13% おおむね達成: 67% やや不十分: 12% 不十分: 3% 空白: 4%
	③学校は部活動の安定的な運営に努めている	十分達成: 15% おおむね達成: 51% やや不十分: 20% 不十分: 9% 空白: 5%

〔成果と課題〕

防災教育・安全教育の推進については、年3回の防災訓練を行っている。特に今年度においては、「防災と命」を主題とした講演会を開催し、東日本大震災の津波で家族を失った方のお話を聞く機会を持ち、命の大切さや防災について多くを学ぶことができた。

快適な教育環境の整備については、生徒は日常の中で清掃活動や美化活動を行うことを通して好ましい環境を作る活動を行っている。小中連携事業として毎年行っている保護者や地域の方と行う地域清掃活動においては、今年度より中学生が小学生の範となりながら一緒に活動することができた。また、日々の中で安全管理に心がけ、業務員による迅速な修繕業務や環境美化が行われている。さらに、教育委員会との連携をとり、東側トイレ改修工事が終了し教育環境の快適化が進められている。

部活動の適正な運営については、教育委員会より示された「川崎市立中学校の部活動に係る方針」に則り、本校における活動方針を示し、運用を行っているところである。

(5) 学校の教育力を強化する

重点目標	⑭教職員研修の充実 ⑮学校評価を生かした教育活動の推進 ⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立 ⑰体罰や不適切な指導の根絶																															
自己評価	評 価 の 観 点	評 価																														
	⑭研修に取り組み資質の向上に努めている	7.5																														
	⑮学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	6.7																														
	⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立に努めている	8.5																														
	⑰体罰や不適切な指導の根絶に努めている	8.6																														
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている</td> <td>36%</td> <td>48%</td> <td>10%</td> <td>2%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている</td> <td>23%</td> <td>54%</td> <td>17%</td> <td>3%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>⑯先生は公務員として適正に校務を行っている</td> <td>39%</td> <td>42%</td> <td>12%</td> <td>4%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている</td> <td>38%</td> <td>41%</td> <td>15%</td> <td>6%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている	36%	48%	10%	2%	4%	⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	23%	54%	17%	3%	3%	⑯先生は公務員として適正に校務を行っている	39%	42%	12%	4%	2%	⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	38%	41%	15%	6%	1%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																											
⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている	36%	48%	10%	2%	4%																											
⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	23%	54%	17%	3%	3%																											
⑯先生は公務員として適正に校務を行っている	39%	42%	12%	4%	2%																											
⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	38%	41%	15%	6%	1%																											
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている</td> <td>11%</td> <td>59%</td> <td>12%</td> <td>2%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている</td> <td>6%</td> <td>62%</td> <td>17%</td> <td>2%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている</td> <td>18%</td> <td>61%</td> <td>12%</td> <td>3%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている</td> <td>20%</td> <td>57%</td> <td>12%</td> <td>4%</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている	11%	59%	12%	2%	16%	⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	6%	62%	17%	2%	13%	⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている	18%	61%	12%	3%	7%	⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	20%	57%	12%	4%	7%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																											
⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている	11%	59%	12%	2%	16%																											
⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	6%	62%	17%	2%	13%																											
⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている	18%	61%	12%	3%	7%																											
⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	20%	57%	12%	4%	7%																											

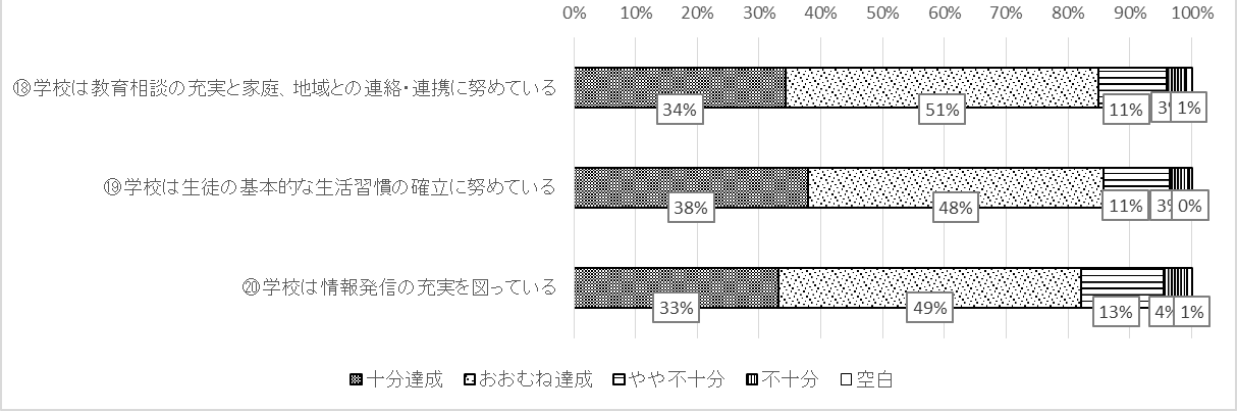
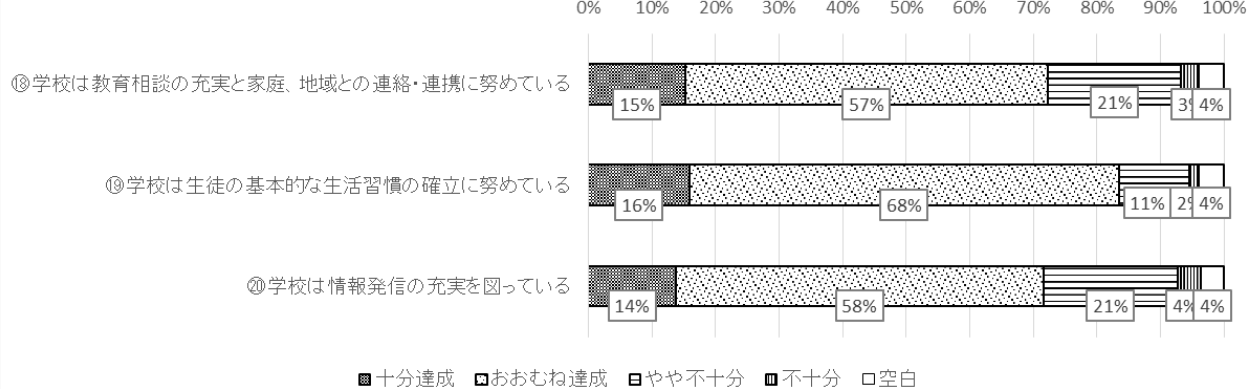
〔成果と課題〕

教職員の研修の充実については、年間を通して、授業研究、指導・評価研修、生徒指導研修、人権尊重研修、体罰防止研修、服務規律研修等に取り組んでいる。特に今年度においては、研究推進校として校内自主研修を行い、キャリア在り方生き方教育やSDGsについての知見を深めることができ、生徒の学習へとつなげることができた。

学校評価を生かした教育活動の推進については、学校経営方針や今年度の重点目標について認識をする場面をさまざま設けてきたが、数値として成果があったとは言えない。これらのことを教職員が理解することで、地域の公立中学校として取り組んでいかなければならないことが明らかになると考えるので、改善に向けて取り組んでいきたい。

適正な校務の遂行と公務員倫理の確立について、体罰や不適切な指導の根絶については、厳守していかねばならないものである。校内における研修や、日々の中で教職員が互いによりよい姿を求め、研鑽していきよう努めていきたい。

(6) 家庭・地域と連携する

重点目標	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底 ⑲基本的な生活習慣の確立 ⑳情報発信の充実																								
自己評価	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">評価の観点</th> <th style="width: 20%;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>⑲生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>⑳情報発信の充実を図っている</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	7.8	⑲生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	8.1	⑳情報発信の充実を図っている	7.3																
評価の観点	評価																								
⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	7.8																								
⑲生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	8.1																								
⑳情報発信の充実を図っている	7.3																								
生徒アンケート	 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている</td> <td>34%</td> <td>51%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている</td> <td>38%</td> <td>48%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑳学校は情報発信の充実を図っている</td> <td>33%</td> <td>49%</td> <td>13%</td> <td>4%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	34%	51%	11%	3%	1%	⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	38%	48%	11%	3%	0%	⑳学校は情報発信の充実を図っている	33%	49%	13%	4%	1%
評価項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	34%	51%	11%	3%	1%																				
⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	38%	48%	11%	3%	0%																				
⑳学校は情報発信の充実を図っている	33%	49%	13%	4%	1%																				
保護者アンケート	 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている</td> <td>15%</td> <td>57%</td> <td>21%</td> <td>3%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている</td> <td>16%</td> <td>68%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑳学校は情報発信の充実を図っている</td> <td>14%</td> <td>58%</td> <td>21%</td> <td>4%</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	15%	57%	21%	3%	4%	⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	16%	68%	11%	2%	4%	⑳学校は情報発信の充実を図っている	14%	58%	21%	4%	4%
評価項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
⑱学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	15%	57%	21%	3%	4%																				
⑲学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	16%	68%	11%	2%	4%																				
⑳学校は情報発信の充実を図っている	14%	58%	21%	4%	4%																				
<p>〔成果と課題〕</p> <p>教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底については、三者面談（年3回）、教育相談月間（年2回）を年間計画に位置づけ取り組んでいる。さらに、必要に応じて二者面談や三者面談を実施し、課題に対しては早期の対応に努めている。また、地域との情報交換ができるようPTA運営委員会や学校推進会議、地域教育会議、町会との連携を図っている。特に「ふれあい広場」の取組においては、PTA、PTAOB、地域の方からの協力をいただき、活動を行うことができている。学校運営において、これらの連携は欠かせないところであり、今後においても地域の学校として取り組んでいきたい。</p> <p>生徒の基本的な生活習慣の確立については、各家庭において温かく適切な家庭教育が図られているものと考えている。生徒が落ちついた学校生活ができているのは、家庭の教育力が大きいと感じている。</p> <p>情報発信の充実について、学校便り、学年便り、学級便りや各行事等の案内を発行し、保護者や地域に学校の取り組みを発信している。また、学校ホームページは生徒の安全を確保するため、生徒名の記載や写真の掲載は行わないようしており、定期的に更新するように努めた。同窓会の活性化を図ることをねらいとし、学校ホームページの中に同窓会のページを設けている。今後活用について検討され、活用されていくものと期待するところである。</p>																									

(7) 全体総括

〔学校関係者評価〕

○学校の自己評価は概ね適切である。生徒や保護者のアンケート結果とも大きな違いがあるところではなく、信頼性があると考えられる。また、教職員の自己評価や生徒アンケート・保護者アンケートは、前年度の結果と概ね同じ傾向と分析することができる。

○「人間としての在り方生き方の軸をつくる」については、平成 30・31 年度 教育課題研究推進校、平成 31 年度キャリア在り方生き方教育研究推進校としての指定を受け、取り組んだ成果がみられると考えられる。研究の成果を生かし、継続した取り組みを行うことで、キャリア在り方生き方教育の推進や、生徒が主体的な活動ができる力をつけていく取組の推進を期待する。

○「学ぶ意欲を育て『生きる力』を伸ばす」については、教職員の自己評価は前年度と比較し向上していることが読み取れるが、生徒アンケートや保護者アンケートは前年度と差異がみられるとはいえない。ICT 教育の充実が時代が求めるところなので、教員が十分に活用できるよう力をつけ、生徒が機器を活用した学習活動が展開できることになるように望みたい。

○「一人一人の教育的ニーズに対応する」については、学習相談室の活用やオープン教室の昼休みの実施など、取組に改善の様子がみられる。支援教育を推進することや、いじめ・不登校の未然防止と早期対応にしっかりと取り組むことで、生徒が安心して通える学校づくりに引き続き取り組んでほしい。

○「良好な教育環境を整備する」については、小学校と中学が協力して保護者、地域とともに取り組んでおり良いと評価している。部活動の適正な運営については、部活動方針に従って適正に実施していくことはもちろんのこと、その徹底に努めることが求められているところであるが、生徒の中にはより充実した活動を求める者もいる。より充実した活動ができるよう、保護者や地域が協力してできることがあれば協力していきたい。

○「学校の教育力を強化する」については、継続して研修を充実させていくことを行い、信頼される教職員の姿があるより良い学校にしていくことを期待したい。

○「家庭・地域と連携する」については、協力をいとわぬ保護者や地域協力者が多くある地域であり、継続して連携していきたい。

〔まとめ〕

教職員による自己評価と生徒や保護者のアンケートの結果からいくつかの課題を見いだすことができたと同時に、多くの項目に成果があったと考える。

次年度においては、川崎市立中学校として「かわさき教育プラン」を基盤とし、また、本校が掲げた3年間の中期重点目標の達成に向けた取組と今回の学校評価の結果等を踏まえ、特に次の4つに重点をおいて教育活動を推進する。

- (1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 - ①キャリア在り方生き方教育の推進
- (2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
 - ⑦ICT 教育の推進
- (3) 一人一人の教育的ニーズに対応する
 - ⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用
- (5) 学校の教育力を強化する
 - ⑮学校評価を生かした教育活動の推進